



Multi-GNSS Asia Conference (MGA)は、アジア・オセアニア地域での衛星測位の活用に向け、産官学が参加するGNSSの技術情報、ビジネスマッチングの場です。第10回目となる今年は、10月23日から25日の3日間、メルボルンのRMTI Universityで開催されました。開催国となるオーストラリアは、今年7月に宇宙庁を設立しており、衛星測位の積極的な活用に向け非常に盛り上がっていました。

GPS, GLONASS, QZSS, Galileo, BeiDou, NavICと各国の衛星測位のアップデート情報が発表された他、マルチGNSSの利用の仕方、将来のアプリケーションの可能性、そして次世代の衛星測位のあり方などが議論されました。オーストラリアが取り組むSBASなどの取り組みも紹介され、非常に興味深いカンファレンスとなりました。また、併設された展示会場にも、今まで以上の多くの企業、団体が様々な分野のソリューションを展示していました。

RMTI Universityでの開催は9年ぶりとなりますが、当時は数十名の参加だったMGAも、今年は200名ほどの参加となり、アジア・オセアニア地域でのGNSS活用が浸透してきたことを感じられるカンファレンスとなりました。広がりつつあるGNSSの活用に向け、当社は位置情報を高精度に扱うための技術をさらに高め、高精度測位システムと合わせ、より多くの分野への展開を視野に入れた活動を推進していきます。

【展示会とカンファレンスの様子】

